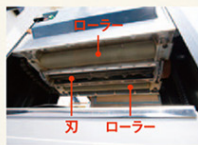


使い方は
とても
シンプル!

前後のローラーの間
に回転式の刃がある



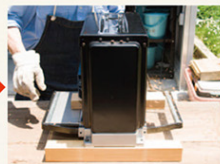
本体の前後に、材を水平に送るためのローラーがある。長い材をカンナがけする場合は、さらに別売りのローラーを追加して、材を水平に保持できるようにする



レバーを回し、刃の高さを材の厚さに合わせる



スイッチを押すと、自動で材を引き込むので、手を添えて材を送る



自動で材が送られていく

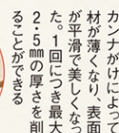


後ろに送り出された材を水平に引けば、カンナがけ完了

この材が…
表面が日焼けした
SPF1×4材端
部にキズも見られる



こうなる!
カンナがけによって
材が滑くなり、表面
が平滑で美しくなっ
た。1回につき最大
2.5mmの厚さを削
ることができ



課題のカンナがけを
AP-10Nが二発解決

「もともと電気カンナを持っていたんですが、自分で動かすととなると均一にカンナがけするのが難しく、平らには仕上げられない。結局、ほとんど使わなくなりました。そんなときに自動カンナがやってきて、これは最高だ。自分の技量に関係なく、きれいにカンナがけできるんですから」

そう語る村松武さんは、持ち前のセンスでドゥーパ!DIY大賞第11回グランプリ、第13回ガーデン家具部門賞などを受賞した、いわばハイレベルなDIYer。それでも自身を「ド素人」と表現し、工具の重要性を強調する。リョービの自動カンナAP-10Nは、そんな村松さんがとりわけ重宝している工具だ。

「この自動カンナを使うようになって、作るものが変わりました。材の厚さを自分で調整できるから、市販の材の寸法を基準に考えなくてもいい。だから、設計の発想から変わってしまっただけ。もの作りの幅が広がりましたね」

自動カンナを手に入れてから作ったフェンスの支柱や横架材、ゲートの格子、シンクの脚。いずれも市販

堅い材も
スイッチひとつで
カンナがけしてくれるから
ウレシよね～

AP-10Nを使って
こんな作品を作りました!



DIY歴12年の
村松武さん
(63歳)



SPF材で骨組みを作り、メッシュパネルをはめ込んだフェンス



支柱サイズは市販のSPF材では見られない70mm角程度。全体のバランスに合わせてサイズを調節できるのが自動カンナの強み

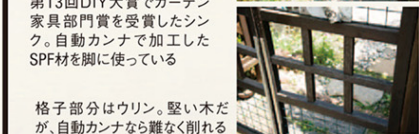


第13回DIY大賞でガーデン家具部門賞を受賞したシンク。自動カンナで加工したSPF材を脚に使っている

ゲートに使用した角材も、すべて自動カンナを通したものの



格子部分はウリン。堅い木だが、自動カンナなら難なく削れる



「作品の質がグッと上がりました」第11回DIY大賞グランプリ・村松さん

リョービ・自動カンナAP-10Nで さらに楽しいDIYの世界へ

第1回ドゥーパ!DIY大賞から長きにわたり
グランプリ賞品となっているリョービ・自動カンナAP-10N。
簡単な操作で木材の表面を平滑にでき、
厚みの調整もできて、
作品の仕上がりを向上させる効果は絶大。
DIYerを職人気分にならせてくれるナイスな工具だ。
今回は第11回DIY大賞でグランプリを
受賞した村松武さんを訪ね、
自動カンナAP-10Nの活躍ぶりをレポート。

写真◎福島章公



自動カンナとしては小型・軽量で、持ち運びしやすいのが特長。幅490×奥行476×高さ412mm、最大切削幅254mm(8寸4分)、切削材厚さ5~127mm(1.5分~4寸2分)、最大切削深さ(1回当たり)2.5mm、送材速度13cm/秒、回転数8000min-1、単相100V・14A・1350W、重量26kg、実勢価格7万円前後(編集部調べ)